

グアテマラ月報(2024 年 12 月)

2025 年 1 月

在グアテマラ日本国大使館

【ポイント】

- 政府は 2025 年最低賃金を農業・非農業部門で 10%、輸出関連業で 6%増額することを発表。国家文民警察(PNC)内にオンライン詐欺対策等対策局を新設。
- 外交では、ジェイコブスタイン米国国務次官補代理がグアテマラの汚職対策を評価。また、マルティネス外相は欧米諸国との関係強化及び在外グアテマラ人への領事サービス拡充を 2024 年の成果として強調。
- 経済関連では、中央銀行は 2024 年のマクロ経済状況が良好であると発表し、GDP 成長率は 3.7%、インフレ率は約 2%と説明。
- また、全国コーヒー協会は、国際コーヒー価格の上昇がグアテマラの生産者と輸出業者に利益をもたらすと予測し、観光庁は 2024 年の海外からの観光客数が 300 万人に達し 13 億ドルに上る外貨収入が見込まれると発表。

【本文】

1 内政

(1) 国家文民警察がオンライン詐欺等対策局を新設

9 日、国家民事警察(PNC)は 11 月 27 日に可決・成立した改正 PNC 法を受け、サイバーセキュリティ、オンライン詐欺等を専門に扱う部局を新設した。同局は、既存のサイバー犯罪部門を、より多くの予算と権限を与える形で再編成したもので、オンライン詐欺等の対策にあたる。

(2) アレバロ大統領が最低賃金増額を発表

22 日、アレバロ大統領及びロケル労働大臣は、2025 年 1 月 1 日に発効する最低賃金増額の決定を発表した。同発表によると農業・非農業部門は 10%、輸出関連業は 6%の最低賃金上昇となる。これにより各部門の最低賃金(月額)は農業部門:3,843 ケツアル(約 7 万 3 千円)、非農業部門:3,973 ケツアル(約 7 万 5 千円)、輸出関連業:3,651 ケツアル(約 6 万 9 千円)となる。

2 外交

(1) 外務省、チアパス国境付近の治安悪化についてコミュニケを発出

13 日、外務省はメキシコ・チアパス州の国境を通過する際の危険性についてのアラートを発出し、訪問や移動時に十分な注意を払うよう呼びかけた。グアテマラとメキシコ両国政府は共同で国境警備を強化している。

(2) マルティネス外相、欧米諸国との関係強化と在外グアテマラ人への領事サービス拡充を成果として強調。

18 日付当地主要紙ディアリオ・デ・セントロ・アメリカ紙は、マルティネス外相のインタビュー記事を掲載。米国との関係では投資・貿易の促進を目的としたハイレベル経済対話の発足を外交的成果として強調しつつ、治安・組織犯罪等に関するハイレベル会合の開催にも言及した。さらにアレバロ大統領によるスペイン、フランスをはじめとする欧州訪問を通じ同地域との関係も強化されたと述べた。また、領事関係では、米国におけるパスポート発給センターを 3 箇所増設し合計 13 カ所とすることで在外グアテマラ人へのサポートを拡充している旨説明した。

(3) ジェイコブスタイン米国国務次官補代理、グアテマラにおける汚職対策を評価

20 日付当地主要紙プレンサ・リブレは、エリック・ジェイコブスタイン米国国務次官補代理のインタビュー記事を掲載。同次官補代理は、グアテマラにおける汚職や麻薬取引への対策を評価した。また、グアテマラと米国の関係は超党派で緊密な関係にあり、米国の政権交代は二国間関係に大きな変化をもたらすことはないと述べた。他方、グアテマラ国内の司法機関と検察に対する懸念が依然として存在し、米国はこれに関する支援を続ける意向であると言及した。

(4) EU はグアテマラの司法関係者に対する制裁を 2026 年まで延長

16 日、欧州連合 (EU) はポラス検事総長を含む 5 名の検察・司法関係者に対する制裁を 2026 年 1 月 13 日まで延長すると発表した。この制裁対象には、クルチチェ検察庁無処罰対策専門局 (Feci) 局長、オレジャーナ第 7 刑事裁判所判事、モラレス検察官、ピネダ検察庁官房長が含まれる。同制裁は、これら 5 名が民主的に選出された政府に対する継続的な攻撃を行い、グアテマラの民主主義を損なう行為に関与したことを根拠としている。具体的には EU 域内への入国禁止及び EU 内の資産凍結の措置が取られている。

(5) 米国国務省は、モンダル・チュウ元労働銀行総裁及びパニアグア憲法裁補欠判事を制裁対象リストに掲載

27 日、米国国務省はホルヘ・モンダル・チュウ元労働者銀行総裁およびパニアグア憲法裁判所補欠判事を汚職の疑いで新たに制裁対象に指定し、エンゲルリストに掲載した旨発表した。モンダル・チュウ元労働者銀行総裁は、資格要件を満たしていないためアレバロ大統領によって解任されたが、パニアグア憲法裁判所補欠判事への贈賄により職を維持しようとし、同判事は賄賂を受け取り、モンダル・チュウ氏が提出した保護請求審査において同氏に便宜を図ったとされている。

(6) 台湾、グアテマラのラ・アウロラ国際空港の復旧に 250 万ドルを寄付

台湾政府は、グアテマラのラ・アウロラ国際空港のインフラ改善及び利便性向上のため 250 万ドルを供与。同プロジェクトは二段階のフェーズで構成されており、第一フェーズでは、放送システムの刷新、ターミナルの内外装の塗装、照明設置、フードコートの改装などが行われる。

3 経済

(1) 中央銀行による経済見通し: マクロ経済は良好

16 日、ゴンサレス・リッチ中央銀行総裁は「2024 年マクロ経済情勢及び 2025 年経済見通し」と題した講演会において、「グアテマラのマクロ経済状況は非常に良好である。2024 年の GDP 成長率は 3.7%、2025 年は 4%を見込んでいる。インフレ率は 2%程度の低水準であり、為替も非常に安定している。2024 年は税收増加に加え、輸出額の伸び(1.9%増)及び旺盛な郷里送金(対 GDP 比約 18.9%にあたる 213 億ドル強を予測)により外貨準備も潤沢である。公的債務残高も低水準にあり、総じてマクロ経済は堅調である。来年度予算では財政赤字が目標の 2%から 3.1%へ増加するが、これはインフラへの投資のための一時的な措置であり、IMF 等の国際機関も成長を目的とした短期的な債務増は問題ないとの立場を示している」旨説明した。

(2) 国際的なコーヒー価格の上昇はグアテマラの生産者と輸出業者に利益をもたらすと予測

4 日、当地主要紙プレンサ・リブレは、全国コーヒー協会(Anacafé)による 2024-2025 年のコーヒー収穫及び輸出見通しについて報じた。同協会によると昨年 12 月の価格は 1 キンタル(注: 45.4kg)あたり 193 米ドルであったが、直近の数週間でコーヒーの国際市場価格が上昇し 11 月 26 日には 326 米ドルを記録した。これは 1977 年に記録された 337 米ドルに次ぐ史上 2 番目の高値とされている。同協会はこの価格上昇はブラジル及びベトナムにおける干ばつの影響によるものと述べ、一方、グアテマラでは開花の時期に多少の雨不足はあったものの作柄は良くコーヒー生産者及び関連業者は期待をもって市場の動向を見守っていると説明した。

(3) 首都圏メトロ整備計画に関する報道

6 日、当地主要紙プレンサ・リブレ紙(電子版)は、政府及びグアテマラ市が計画している首都圏におけるメトロ建設の見通しについて報じた。グアテマラ市が策定した工程表によると、首都圏メトロ整備計画の東西線(アエロ・メトロ)はロープウェイ方式で、2026 年末から 2027 年初めの運転開始を見込んでいる。同計画には民間投資約 12 億ケツアル(約 228 億円)の投資が想定されており、コンセッション契約に基づきグアテマラ企業(Cabrevia 社)が設計、工事、一定期間の運営を行うとされている。

(4) 2024 年の海外からの観光客数は 300 万人(暫定値)

25 日、観光庁(Inguat)は、2024 年中の海外からの観光客数が 300 万人に達し、外貨収入は 13 億ドル超にのぼる見通しと発表。11 月までの観光客数は前年同期比 15.4%増の 271 万人を記録。

観光業界は、年末にかけてホテルの予約率が約 75%に達していると報告している。観光庁はこの観光客数の伸びはパンデミック中に渡航を控えていた、いわゆる「リベンジ旅行」の影響が大きいと説明。

(5) 消費者向けクレジットが急増

30 日、銀行監督局(SIB)は、2024 年中グアテマラにおける消費者向け与信残高が 13%増加し 3,460 億ケツアルを記録した旨発表。消費者ローン(créditos al Consumo)は 20%伸び、1,283 億ケツアルに達した。その内クレジットカード利用が 24.5%増加し、国民のカード債務残高は 366 億ケツアルを記録。経済専門家は、この増加は主に旺盛な家計消費が要因と分析。他方で消費目的のローンの過剰利用による債務リスクが指摘されている。

4 その他

(1) ドミニカ(共)においてグアテマラを積出港とするコンテナから大量のコカインが摘発される

4 日、ドミニカ(共)カウセド港においてグアテマラで船積されたコンテナから約 10 トンのコカインが摘発された。同コンテナの申告内容はベルギー向けのパナナであり、ドミニカ(共)において積み替えのため陸揚げされた際に税関検査により摘発された。ドミニカ(共)税関当局はドミニカ(共)内で詰め替えが行われた可能性を調査中として 10 名の港湾関係者を拘束したと発表した。

(2) グアテマラの巨大凧作り技術がユネスコの無形文化遺産に登録された

5 日付当地主要紙プレンサ・リブレは、グアテマラの巨大凧作りの技術が、ユネスコの無形文化遺産に登録された旨記事を掲載。大凧作りはサンティアゴ・サカテペケス及びスンパンゴ地域で伝統的に行われており、毎年 11 月 1 日に大凧を揚げる祭りが開催される。アレバロ大統領は、ユネスコによる決定を受け先住民族の創造性と継続性を称賛した。

《経済指標》

◇主要経済指標◇	2024 年		2023 年	2022 年
	12 月	11 月		
インフレ率(前年同月比)	1.70%	1.66%	6.27%	9.24%
貿易収支(百万ドル)	未公表	△1,545.6	△16,124.2	△16,437
輸出(百万ドル)	未公表	1,185.7	14,194.3	15,684.3
輸入(百万ドル)	未公表	2,731.3	30,318.5	32,121.8
外貨準備高 (百万ドル)	24,421.6	24,150.5	21,319.4	20,019.8
外国からの送金(百万ドル)	1,940.8	1,734.0	19,804.0	18,040.3
為替レート(対ドル月平均)	7.72	7.74	7.85	7.77